

招 集 期 日	令 和 8 年 9 月 17 日 （木）		会議の場所	教育委員室
会議の時刻	開会の時刻 午後 3 時 00 分		開 会 者	教 育 長
及び宣告者	閉会の時刻 午後 4 時 10 分		閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
川 島 規 行 教 育 長	出 席	田 村 和 代 委 員	出 席	
柿沼拓弥教育長職務代理者	出 席	太 田 澄 子 委 員	欠 席	
駒 澤 幸 浩 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説明のための出席者	大久保学校教育部長	新井生涯学習部長	一ノ瀬教育総務課長	柿沼学校教育課長
	秋山学校給食センター所長	渡邊生涯学習課長	根岸スポーツ振興課長	尾花図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 平川			傍聴人 なし
会議事件名	て ん 末			
開 会 日程第1 前回会議録の承認	教育総務課長	本日、傍聴人はない。		
	教育長	9 月定例教育委員会を開会		
	教育長	教育委員会の会議は公開が原則となっているが、人事に関する案件等について出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決した場合は非公開とすることができる。本日の日程の中で議案第 53 号は人事に関する案件のため、非公開としてよろしいか。		
	教育長	異議なしの声あり		
	教育長	議案第 53 号を非公開とする。		
	教育長	8 月定例教育委員会の会議録について諮った。		
		異議なしの声あり		

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項3 第24回羽生市文化祭の開催について</p> <p>報告事項4 第29回羽生市吹奏楽フェスティバルの開催について</p> <p>報告事項5 令和8年度羽生市人権教育研修会の結果について</p>	教育長	<p>なるが、西中のみ給食開始時間から給食時間中までである。内容は、食育指導、給食時間の見学による給食状況の把握、配膳室の衛生管理指導を行う予定である。食育指導のテーマは、給食の大切さについてと、食品ロスの削減についてである。実施計画は記載のとおりである。なお、川俣小は、10月16日（金）に市学校給食センターの見学を希望しているため、市学校給食センターで実施予定である。岩瀬小は今年度訪問予定だったが、川俣小と同様に、6月16日（火）に市学校給食センターを見学しており、その際に食育指導を行っている。</p> <p>報告事項3から5について、生涯学習課長から説明を求めた。</p>
	生涯学習課長	<p>開催日時は、11月7日（土）が午前9時30分から午後5時まで、11月8日（日）が午前9時30分から午後4時までである。会場は、羽生市民プラザである。参加団体は、羽生市文化団体連合会に加盟している9団体で、絵画や彫刻、生け花など、各団体の作品展示のほか、茶道協会による茶会や、将棋連盟による将棋大会など、参加型の催し物も実施する。広報10月号で特集記事が掲載されるので是非御覧いただきたい。</p>
	生涯学習課長	<p>吹奏楽を愛好する学校や団体に、日頃の練習の成果を発表する機会を提供し、参加者相互の交流及び技術の向上に資するとともに、市民に吹奏楽を視聴する機会を提供することで、文化振興を図るものである。開催日時は、10月25日（日）午前10時30分から、会場は、市産業文化ホール大ホールで、入場料は無料である。参加団体は、中学校の部は市内3校、中高合同の部が1団体、高校の部は4校、一般の部は6団体の、合計14団体である。講評は、東京アカデミック管弦楽団のホルン奏者の齋藤崇之氏にお願いしている。</p> <p>この研修会は、行政関係団体のほか、広く市民に周知をして開催した。開催日は7月31日（金）、会場は市産業文化ホール小ホールで、322名の方に御参加いただいた。</p> <p>研修会の内容は、市内児童生徒による人権作文発表と、講演</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項6 開館40周年記念事業 「図書館・郷土資料館フェス」の開催について</p>	<p>教育長</p> <p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>の2部構成である。講師は、神戸学院大学経済学部教授の岡部芳彦氏で、「陽気で明るく美しい国ウクライナでの戦争」と題し、講演していただいた。参加者のアンケートから、人権作文、講演会ともに、多くの方々から大変満足したとの賛辞の声があった。参加者の感想については、記載のとおりである。今後も研修会を通して、市民に人権について考える機会を提供し、理解を深めていただけるよう努める。</p> <p>報告事項6から9について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p> <p>今年度は、市立図書館・郷土資料館が開館40周年の記念の年であるため、11月1日（日）に図書館及び郷土資料館の全エリアを使用してイベントを開催する。イベント内容としては、図書館に関わるボランティアや春山幼稚園の園児たちによる読み聞かせ会、郷土資料館による卯三郎検定を予定している。この検定は、清水卯三郎に関する展示に合わせて来場者に問題を解いていただき、一定の設問に正解した方へ認定証を渡すものである。また、広場では市内の飲食店に御協力いただき、ハンバーガーやコーヒーなどの食品販売を予定しており、来場者に楽しんでもいただければと考えている。館内イベントのスタンプラリーについては、各種イベントコーナーに参加し、集まったスタンプの数に応じて景品をお渡しする予定である。さらに、館内イベントのムジナモたちは、ムジナモ保存会の協力をいただき、ムジナモに直接触れられるコーナーを用意する。周知方法として、広報やホームページのほか、ポスターの掲示やチラシなどの配布を予定している。</p> <p>報告事項7 第18回羽生市郷土芸能発表会の開催について</p> <p>図書館長兼郷土資料館長</p> <p>文化振興の一環として、郷土芸能の発表の場を設け、市内で培われてきた地域文化の継承と団体間の交流を図る。また、無形民俗文化財に対する地域住民の興味や理解を深める機会とするため、開催するものである。主催は、羽生市郷土芸能発表会実行委員会と市教育委員会である。日時は令和9年2月14日（日）午後1時から、会場は市産業文化ホール小ホールである。</p>

会議事件名	て ん 末	
	学校給食センター所長	アンケートは行っていないが、実施した学校からは後日、作文や手紙をいただいております、給食センターを見学した感想が寄せられている。また、見学時は子どもたちと近い距離であるため、興味をもって話を聞いている様子を感じ取ることができた。
	駒澤委員	作文や手紙を書いてもらっているのであれば、その内容を知ることが重要であると考えている。それは将来的な投資でもあり、例えば「給食センターで働きたい」といった子どもならではの目線があったり、現場の改善にも有効な機会である。これは全ての事業に言えることであるが、何かを実施した際にアンケート等で参加者から声をもらうことは非常に重要である。これに限らず、是非実施していただきたい。
	柿沼委員	報告事項 3 についてである。本市の文化を次の世代にどう伝えていくかが大事なポイントであると思うが、今年度と昨年度とで変わった点や、変更の目的、あるいは今年度のテーマなどがあれば教えていただきたい。
	生涯学習課長	昨年度と大きく変わる点は特にないが、今年度は広報 10 月号において特集記事を大々的に掲載することとした。市の文化祭は例年、作品を出展した方やその身内の方の参加が中心となっている印象があり、私自身、昨年度二日間足を運んだ際にそのように感じていた。若い世代にも是非見ていただきたいという思いから、展示内容自体に大幅な変更はないものの、特集を組めないか依頼したところ、了承いただけた。広報 10 月号に記事を掲載し、今年度は若い方々やファミリー層など、より多くの来場者に足を運んでいただければと考えているところである。
	柿沼委員	先ほど話に出たが、作品を出品することが一番大事なことであると思う一方で、出品する方々の高齢化が進んでいると感じている。それをいかに若い世代へ伝え、どうやって若い人たちを引っ張り込んでいくのがテーマであると思う。文化の発展のために若い人たちを巻き込むことについて、郷土芸能においても年配の方が多く、若い方の参加が少ない状況であると認識している。市としてどのような協力体制や支援ができるか考え

会議事件名	て ん 末	
	生涯学習課長	<p>ていることはあるか。</p> <p>文化祭の実行委員会や、作品を制作し、展示している方については、やはり高齢者の方が多く、若い世代が混在する場面は少ないと感じている。文化祭を開催するに当たっては実行委員会等を組織しているが、若い世代を取り込むことは必ず課題となっており、委員御指摘のとおりである。しかしながら、現状ではなかなか有効な手段がまだ見当たらず、現在も模索している状況である。今後もその課題を念頭に置きながら、各世代が参加し、作品を展示できるような文化祭を目指したい。</p>
	柿沼委員	<p>ある地域で、車にフィルムを貼り付けた展示、いわゆる「痛車」や「カーラッピング」というものかと思うが、そうした展示をしたところ、若い世代のファンが会場に多数訪れたという話を聞いたことがある。今回の一連の取組とは異なるかもしれないが、このように若い世代を取り込む方法というのは他にもあるのではないかと思う。今後是非工夫をして、若い世代に文化を伝えていただきたい。</p>
	生涯学習課長	<p>本市文化団体連合会に加盟している茶道や絵画、彫刻といった文化・芸術の分野に限られているため、先ほど話題に出た車のジャンルなどが無いことで、若い方たちが来ないことも十分に考えられる。今後、文化団体連合会にそうした若い人たちを引きつけるような新しい団体が加盟できるかという点、現状ではなかなか難しいところではあるが、本日いただいた委員の意見について、すぐには実現できないかもしれないが、今後皆さんの頭の隅に置いていただけるよう提案していきたい。</p>
	教育長	<p>高校生などの参加は難しいだろうか。高校の部活では、将棋部や囲碁部がある。市内の高等学校の参加は、生け花や茶道なども含め、難しい状況があるか。</p>
	生涯学習課長	<p>将棋部や茶道部といった文化系の部活動を巻き込んで実施していく考え方もあると思われる。そのような意見はこれまで出てこなかったものであるため、教育長と柿沼委員の意見も踏まえて今後話し合ってみたい。もし実現できれば非常に喜ばしい</p>

会議事件名	て ん 末	
	<p data-bbox="483 383 619 416">田村委員</p> <p data-bbox="483 864 627 893">図書館長兼郷土資料館長</p> <p data-bbox="483 1386 619 1420">駒澤委員</p>	<p data-bbox="639 286 1046 320">ことであり、今後検討していく。</p> <p data-bbox="639 383 1433 797">報告事項 6 についてである。先週、羽生市民プラザで行われた「清水卯三郎と『風、薫る』の世界展」を拝見した。とてもよく制作できていて、これはまさに郷土の誇りであり、羽生の遺伝子であると感じた。小・中学生にもっと学習してほしい人物であり、偉大な人物が郷土にいるという誇りをもってもらいたいと考えている。40 周年記念事業について、卯三郎検定や郷土資料館で、羽生市民プラザで展示されていたような小物や NHK で使用したものは展示されるのか、雨天の場合の対応はどのようなのかということについて教えていただきたい。</p> <p data-bbox="639 860 1433 1323">清水卯三郎の小・中学校の学習についてであるが、今回は羽生東小で授業を行っており、市郷土資料館の学芸員が出向いて説明を行い、授業に発展していった経緯がある。そのため、今後も小・中学校で希望があれば、こちらから説明をして授業に発展していけたらと考えている。展示内容については、卯三郎検定の際に市郷土資料館で作成したパネルなどの展示は可能であるが、NHK の関連の物については借りることは難しいと思われる。また、雨天の場合であるが、屋外であってもテントをいくつか借りているため、予定どおりテントの下や屋内で楽しんでいただけるようにしたいと考えている。</p> <p data-bbox="639 1386 1433 1944">報告事項 6 について、市民が市図書館に何を求めているのかを拾い上げることが大事だと考えている。現在、貸出しの電子化が進み、読書離れが盛んに言われている状況の中、図書館に対して市民や世間が何を求めているのか、その声を拾い上げる意味ではすごく良い機会であると思う。実際に足を運ぶ人は何かしら市図書館や市郷土資料館に期待をもっている方であり、そういった方々の声を拾い上げる方法として、例えば先ほどのアンケートや、ポストイットに書いて貼り付けてもらう方法、あるいは電子的な方法で声を上げてもらうことをまず実行していただきたい。そして、声を上げてもらったことにどう応えていくかが非常に大事なので、そういったことも是非検討していただきたい。</p>

会議事件名	て ん 末
	<small>図書館長兼郷土資料館長</small> <p>フェスにおいて市民や来場者から声をいただくため、現在アンケートを作成しているところである。紙ベースではあるが、市図書館に対して何を求めているのかを知っていただけたらと考えている。</p>
	<small>柿沼委員</small> <p>報告事項 6 について質問が二つある。今回のイベントを開催することで、今後市図書館をどのような場所にしていきたいのか。二つ目は、開催して終わりということではなく、今回の取組を今後の図書館運営にどうつなげていくのか。</p>
	<small>図書館長兼郷土資料館長</small> <p>図書館は基本的に「静かに本を読む場所」であると思うが、時々このようなイベントを開催し、楽しめる要素を取り入れていきたいと考えている。静かに本を読む場所であることに間違いないが、子どもがいればどうしてもにぎやかになることもあるため、親子で来館しやすい温かい場所にしていきたい。また、今後もイベントを開催し、「今日は少しにぎやかになりますよ」という日も作っていただけたらと考えている。</p>
	<small>柿沼委員</small> <p>全国に様々な図書館ができ、それぞれ特徴がある。例えばスタジアム型などもあり、人を呼び込む施設がどんどん作られている。本市でもそのような変わった図書館は欲しいものの、財政的に難しいと思う。そのため、ハード面よりソフト面を充実させて、子どもや市民が読書をしたくなる環境づくりや図書館の利用促進に特に力を入れていただければと思うので、フェスが成功するように頑張っていただきたい。</p>
	<small>教育長</small> <p>春山幼稚園の園児たちによる読み聞かせは、園児が行うということか。</p>
	<small>図書館長兼郷土資料館長</small> <p>春山幼稚園から、園の中で年長児が年少児や年中児に読み聞かせをする勉強をしていると聞いている。練習も兼ねて一度おはなし会に来たことがあった。その読み聞かせをまたフェスの中で実施する予定である。</p>
	<small>駒澤委員</small> <p>ある進学校において、子どもが学校から「自宅以外で勉強する場所を見つけてくるように」というミッションが下されたと</p>

会議事件名	て ん 末	
	<p data-bbox="483 622 619 651">図書館長兼郷土資料館長</p> <p data-bbox="483 958 600 987">駒澤委員</p> <p data-bbox="483 1055 616 1084">生涯学習課長</p> <p data-bbox="483 1435 600 1464">駒澤委員</p>	<p data-bbox="639 286 1433 562">聞いたことがある。その際に市図書館が選ばれる割合がどれくらいなのか気になるところだが、イオンやスターバックスコーヒーなどが選択されることが多いようである。そういった子たちから「市の図書館で勉強する」という声が聞こえてくると嬉しいと思う。フェスは貴重な機会となるため、是非若年層を取り込むような手法を考えていただきたい。</p> <p data-bbox="639 622 1433 898">フェスをきっかけに市図書館の学習室があることをまず知っていただく必要があると考えている。普段は席が半分程度埋まっていることが多いが、混雑時には他の会議室を開ける対応をするときもある。イベントを通して、市図書館も学習できる場所であることを知っていただく機会になったら良いと考えている。</p> <p data-bbox="639 958 1382 987">報告事項４について、予算はどれくらいで見ているのか。</p> <p data-bbox="639 1048 1433 1368">吹奏楽フェスティバルについては、指定管理者に事業を委託しているため、その予算の中で行っていると聞いている。会場使用料は無料になるため、その点についての費用は発生しない。参加費も無料である。紙や当日のプログラムなど多少の消耗品の費用はかかるが、指定管理者の事業として市が委託しているため、基本的には市の指定管理料の中で動かしている数字と捉えている。</p> <p data-bbox="639 1429 1433 1895">謝金等がかかるかもしれないと思っていたが、そこまで大きな金額ではないため、事業に当たって差し支えないものと考えられる。中学校３校が参加する予定になっており、よく中学校から、発表の場が少ないという声を聞く。高校生や一般の方との参加であり、さらに大ホールで演奏できる機会はなかなかないと思うので、こういった事業が長く続くことを願っている。また、今回は不動岡高等学校が打楽器を提供し、他の団体が借りる内容になっている。例えば、他校の生徒が使用した際に事故が起きて楽器が破損してしまった場合の保険などはどうなっているのか。</p>

会議事件名	て ん 末	
	生涯学習課長	<p>不動岡高等学校は人数が一番多く、打楽器もたくさん利用するため、前日や前々日の練習日にあらかじめ運び込んで練習できる体制を整えている。その中で、他の出演団体が利用するのは共有して使っていただく形で効率的に行っている。また、置き場所の問題もあり、不動岡高等学校の打楽器の数は本当に多く、置くだけでも満杯になるほどである。保険については、私が昨年から着任して以降、楽器の破損の事例はない。本市がホールを使用し、破損してしまった場合は、本市の事業であるため保険の適用も考えられる。ただ、実際に運用したことはないと報告を受けている。本市が主催している事業であるため、事故や怪我については保険が使えるが、その中に楽器が含まれている事例は過去になかった。今後確認してまいりたい。</p>
	駒澤委員	<p>現在、物価高騰がかなり進んでおり、楽器を購入するのも大変な状況である。中古の楽器ですら順番待ちのような状態になっているため、ここで楽器が破損して使えなくなったりすると大きな問題につながりかねない。そういった意味では保険をかけておくことは非常に大事であり、保険が適用されるか否かによって相手の受け止め方も変わり、丁寧な対応をしている印象にもつながる。もし保険をかけていないのであれば、有効な手立てであるため是非検討していただきたい。</p>
	教育長	<p>終了予定は何時頃か。</p>
	生涯学習課長	<p>今年は昨年度に比べ、参加団体が開智未来中等教育学校・高等学校、行田市民吹奏楽団、行田うきしろ吹奏楽団の3団体が増えた。そのため、昨年は11時開演であったが、30分早めて開演し、16時から16時半の間には終了する予定である。</p>
	駒澤委員	<p>報告事項9についてである。過去2年と比べても、人数は令和6、7年度に関しては増えているが、令和8年度については参加人数がいくぶんか減っていると見受けられる。今後増やしていきたいと考えているのか、もしくは現状維持でも十分だと考えているのか。資料を見ると、内容自体があまり大きく変化していないように思える。同じような事業を同じようにやっていると見受けられると、なかなか参加しにくくなってくるの</p>

会議事件名	て ん 末	
	<p data-bbox="483 526 619 555">図書館長兼郷土資料館長</p> <p data-bbox="483 1435 600 1464">駒澤委員</p> <p data-bbox="483 1816 571 1845">教育長</p>	<p data-bbox="639 286 1431 461">ではないか。もし今後参加人数を増やしていく方向で考えているのであれば、内容を変化させていくが必要になる。今後の展開として何か考えられることがあればお聞かせいただきたい。</p> <p data-bbox="639 526 1431 1368">ムジナモ自生地の見学会は、確かに参加者が減ってきている。今回初めてアンケートを実施したところ、東京都や神奈川県など遠くからいらっしゃる方がおり、食虫植物や自然が好きな方が多い印象を受けた。例えば、「練馬区の牧野記念庭園のムジナモを育てているところでチラシを受け取って来ました」という方もいらっしゃり、ムジナモに対する興味や関心が広がりつつある点については非常にポジティブに捉えている。一方で、同じ見学会を毎年同じように行っているため、市内で興味のある方は一度行けば何度も行くことはなく、参加しない側面もあると認識している。今後はムジナモに限らず、別の季節に自生地の植物や昆虫などを観察する機会を取り入れることなどを考えている。また、現在羽生東小や手子林小でムジナモを栽培しているが、さらにムジナモ保存会と協力して栽培する学校が増えていけば、そこから「子どもが栽培しているムジナモの自生地に行ってみよう」と、保護者の方が足を運ぶきっかけになるのではないかと考えている。やり方の工夫に加え、学校から保護者に周知を図り、見学会に行きたいと思ってもらえる流れを作っていけたらと考えている。</p> <p data-bbox="639 1435 1431 1704">非常に良い考えだと思う。子どもが参加することによって、保護者も来てくれる可能性が高くなる。各学校でもムジナモを育てているので、興味や関心を持つ方はいると思われるが、なかなかそれを生で見る機会がなくチャンスを逃してしまうこともある。その手法で進めていけばおのずと人数は増えていく。ぜひ実行していただければと思う。</p> <p data-bbox="667 1816 1102 1845">報告事項については、よろしいか。</p> <p data-bbox="667 1962 887 1991">異議なしの声あり</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 令和9年度当初教職員人事異動方針(案)</p>	教育長	協議事項1について、学校教育課長から説明を求めた。
	学校教育課長	<p>本市の基本方針として、8点ある。</p> <p>1点目は県教育委員会の令和9年度当初教職員人事異動方針及び細部事項を踏まえながら、円滑、適正な人事を行うこと。2点目は、適材適所の人事配置を基本に、異動を推進すること。3点目が人材育成を期して異動を推進すること。4点目が、各学校の教職員組織の充実と均衡化に努め、地域差・学校差を是正すること。5点目が、可能な範囲で新規採用教員の任用により学校の一層の活性化を図ること。6点目は、役職定年後の教職員及び再任用教員の適正配置に努めること。7点目が女性管理職の積極的な登用。8点目が障がいのある教職員の採用についてである。転任・転補については、基本方針を踏まえて行う。適材適所の人事配置を行うことはもちろんであるが、学校間の均衡に十分留意して、教職員組織の充実及び教職員の職務経験を豊かにするための人事交流も積極的に行うこととする。あわせて学校の気風の停滞を防ぐとともに、職務経験を豊かにするため、同一校の勤務年数が長い者については積極的に異動を行うものとする。本市が元になっている県の方針については、昨年度と変更はない。</p>
	教育長	協議事項1について、質問・意見を求めた。
	田村委員	<p>各学校の均衡化に努め、地域差をなくすとあるが、地域差は実際にあるものなのか。また、中学校は学区が三つしかないの、中学校ごとの特徴的なことや目指しているものがあるのか。校長が変わるごとに学校のカラーも変わると思うが、その辺りをどう考えているか。</p>
	学校教育課長	まず1点目の、学校間に地域差があるのかどうかという点についてである。基本的に地域差をなくすためにこれまでも人事

会議事件名	て ん 末
	<div data-bbox="483 286 624 651"></div> <p data-bbox="639 286 1430 651">異動に努めてきたため、市内の中学校でそれぞれ全く違うことをやっていることはなく、地域差はないと確認している。2 点目の、各中学校の特色や目指すものについてである。校長の方針が一番にあるほか、小学校も同様だが、それぞれの学校に昔から引き継がれてきている伝統を大切にしながら、校長が目指すところとうまく融合させて各学校の特色あるものを目指している。その中で、教育の均一化を図り、地域差がないように努めている。</p> <div data-bbox="483 712 624 792">田村委員</div> <p data-bbox="639 712 1430 792">市教育委員会としての、各学校の特長を生かすためのアドバイスのようなものはあるか。</p> <div data-bbox="483 853 624 934">学校教育課長</div> <p data-bbox="639 853 1430 1077">市教育委員会としては、市内でそれぞれ特色ある教育を進めてほしい意向はある。しかし、学校によって大きな格差が生まれないよう、人事異動を通じて均一化を図っているところである。各校の伝統や校長の意向もあるため、校長の意向を十分に汲みながら支援をしている。</p> <div data-bbox="483 1137 624 1218">田村委員</div> <p data-bbox="639 1137 1430 1218">難しいと思うが、学校の目指すところが違っても、特長があれば良いのではないかと感じたので質問させていただいた。</p> <div data-bbox="483 1279 624 1359">駒澤委員</div> <p data-bbox="639 1279 1430 1850">基本方針の 7 点目、女性教職員の個々の能力等という部分についてである。今や日本の首相も女性になり、羽生市長も女性になった。あちこちで女性の役員や活躍が見受けられるようになっていく状況の中で、それでも「女性教職員」を頭には書かなければいけないのか。例えば、「教職員個々の能力や適性等を考慮し、性別に関わらず管理職への積極的な（登用を図る）」といった表現にしたり、末尾に「女性教職員が管理職としての能力を発揮する機会の確保と登用に努める」としたりするなど言葉を置き換えたほうがよいのではないかと感じる。平成の終わりや令和の始まった頃であれば良いかもしれないが、現在は女性教職員の活躍が進んできているように感じるため、これからも書き続けるのかどうかお聞かせいただきたい。</p> <div data-bbox="483 1910 624 1991">学校教育課長</div> <p data-bbox="639 1910 1430 1991">女性登用についてであるが、委員のおっしゃるように広く周知が図られているところではあるものの、なかなか進んでいな</p>

会議事件名	て ん 末	
	駒澤委員	<p>い現状がある。管理職のなり手がいないことが教育界の目下の課題となっており、教頭選考や校長選考においても、県から女性登用のため候補者に声がけをするよう依頼されている。また、県の様々な会議においても、委員の女性比率について必ず指定がある。今回は県の意向に基づいて市の計画として作成したものであり、女性登用は教育界において道半ばであると考えている。</p> <p>よく分かり、県の流れだとも思うが、個人的にはやはり違和感を覚えた。そのため、文章の並び替えや言葉の組み換えを行い、誰が見たときにも違和感がない状態にしてもらうことが理想的であるとする。今後同様の事業を進めていく際には考慮していただければと思う。</p>
	教育長	これは県教育委員会の文章と同じか。
	学校教育課長	同じである。
	教育長	市教育委員会とあるが、県教育委員会でもこの7点目の項目はあるのか。
	学校教育課長	入っている。
	柿沼委員	これは市内における人事異動ということで良いか。例えば、本市から県に行くこともあると思うが、県に行くメリットについて学校教育課長の話を聞きたい。非常に優秀な人材は本市から出したくない、市内に留めておきたい気持ちもあるが、市外に出すことでレベルアップして戻ってきてくれれば、将来的に本市にとってプラスになる。その点はどう考えているか。
	学校教育課長	実際に4年間県に行かせていただき、視野が広がったことが大きな収穫である。また、交友関係も広がったと感じている。本市に戻ってきて、県でのつながりをうまく使いながら連携が取れており、東部地区に限らず他の市町村での取組についてもすぐに聞けるようになったりして、得るものが非常に多かった。あくまで本市の方針だが、初任者は5、6年で必ず他市に出す。

会議事件名	て ん 末	
閉 会	教育長	これより会議を公開とする。
	教育長	次回教育委員会の日程について、事務局より説明の旨。
	教育総務課長	10 月定例教育委員会は、10 月 15 日（木）午後 1 時 30 分より、301 会議室にて開催する。
	教育長	<p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>